

年 組 () 名前

サイン



◆ ^{ふる}古くから ^{つき}月を ^{しゅうかん}ながめる習慣のある ^{ちゅうしゅう}中秋(旧暦8月15日)の ^{がつ}9月 ^{にち}21日、^{にち}日本の ^{にほん}各地で「^{かくち}中秋の名 ^{ちゅうしゅう}月」が ^{めい}姿を ^{げつ}現しました。今年 ^{すかた}は ^{あらわ}8 ^{ことし}年 ^{ねん}ぶりに ^{まんげつ}満月と ^{かさ}重なりました。

中秋の「満月」

古くから月を眺める習慣のある中秋(旧暦8月15日)の21日、日本各地で「中秋の名月」が姿を現した。暦と満月の日は必ずしも一致しないが、今年は8年ぶりに重なった。

東京都心は日没後、雲が立ちこめたものの、月が昇ると、切れ間から望めるように。台東区からは、隅田川を挟んで対岸にそびえる東京スカイツリー(墨田区)越しに、まん丸の月が見えた—写真、園田寛志郎撮影—。

(2021年9月22日 読売新聞朝刊より)

【1】^{しゃしん}写真に ^{うつ}写っている ^{まる}まん丸 ^{なん}なものは何ですか。ひらがな ^{もじ}4文字 ^かで書きましょう。

--	--	--	--

【2】^{にほん}日本の ^{ひとびと}人々が ^{むかし}昔から ^{あき}秋にながめて ^{たの}楽しんだ ^{とくべつ}特別な ^{つき}月は、どの ^なような ^{まえ}名前 ^よで呼ばれていますか。

--

【発展問題】^{はってん}日本では ^{もんたい}秋に ^{にほん}この ^{あき}特別な ^{とくべつ}月を ^{つき}ながめて ^どどの ^{よう}ような ^{こと}ことを ^{して}していましたか。調べて ^{しら}裏に ^{うら}書きましょう。また、あなた ^かならば ^{かんが}どの ^かような ^{こと}ことを ^{したい}か、^{かんが}考えて ^か書きましょう。

※ ^{せんせい}先生 ^{ひと}やおうちの ^{ひと}人と ^よいっしょに ^よ読みましょう。

©The Yomiuri Shimbun

年 組 () 名前

サイン



新1万円札
印刷始まる

◆20年ぶりに新しくなる1万円札。その印刷が9月1日から始まりました。

(2021年9月9日 読売KODOMO新聞より)

20年ぶりに新しくなる1万円札＝写真＝の印刷が9月1日、始まりました。

新1万円札には、実業家の渋沢栄一の肖像画が使われます。

日本初の銀行となる「第一国立銀行」(現在のみずほ銀行)を開業



させ、500社もの企業の設立・育成にかかわり、「日本資本主義の父」とも呼ばれています。

日本の紙幣は偽造対策を強化するため、およそ20年ごとにデザインが変更されています。今回の目玉は、角度をかえると肖像画が動いて見える最先端の「ホログラム」という技術です。目の不自由な人も使いやすいように、指で触って紙幣の種類を判別するマークも改良されました。

新紙幣は、2024年から使われるようになります。新しい紙幣が出回っても、今まで使っていた紙幣はすぐにはなくなり、しばらくは両方の紙幣が使われることとなります。

(みほんは国立印刷局提供)

【1】新しいお札は、いつから使われるようになりますか。西暦と元号の両方で書きましょう。

西暦	令和
年	年

【2】なぜ日本はお札のデザインを約20年ごとに変えているのでしょうか。理由を書きましょう。

【発展問題】新紙幣に使われたホログラムという技術がどのようなものか、調べて書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆100歳以上の高齢者数が8万6510人となり、51年連続で過去最多を更新しました。世界の主要48か国の中で、2020年の平均寿命は、女性が1位、男性は2位になりました。

(2021年9月14日 読売新聞夕刊より)

【1】①昨年9月15日の時点で100歳以上の高齢者の数は何人になりますか。計算して小数点以下は切り捨てて書きましょう。

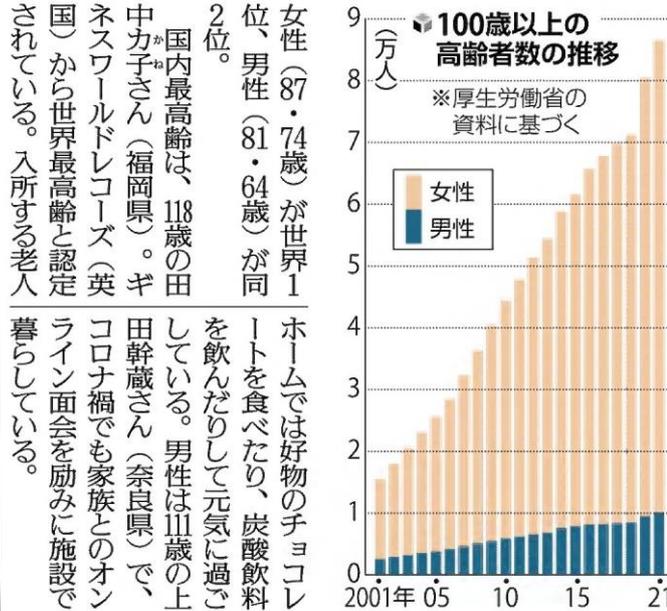
万人

②100歳以上の高齢者数は20年前の6倍ですが、10年前と比べると何倍になりますか。図を見ながら計算して、小数点第2位以下は切り捨てて書きましょう。

【2】年々長寿化が進んでいる要因を2つ書きましょう。

【発展問題】世界各国の平均寿命を調べて日本と比較し、そこから分かったと気づいたことを裏に書きましょう。

敬老の日(20日)を前に厚労省が集計した。医療の進歩や健康意識の高まりで年々長寿化が進んでおり、100歳以上の高齢者は20年前の2001年と比べて6倍となった。主要48か国の比較では、20年の平均寿命は



国内最高齢は、118歳の田中力子さん(福岡県)。ギネスワールドレコーズ(英国)から世界最高齢と認定されている。入所する老人ホームでは好物のチョコレートを食べたり、炭酸飲料を飲んだりして元気に過ごしている。男性は11歳の上田幹蔵さん(奈良県)で、コロナ禍でも家族とのオンライン面会を励みに施設で暮らしている。

100歳以上 8万6510人 男性初の1万人超 51年連続最多

人口10万人当たりの100歳以上の人数は、全国平均が68.54人。都道府県別では、島根(134.75人)が9年連続で首位だった。今年1日に存命で、今年度中に新たに100歳となる見込みの人は、海外在住者や永住外国人を含めて4万3633人で過去最多となり、前年度比で1831人増えた。100歳となった人は政府からお祝い状と銀杯が贈られる。

() 倍

年 組 () 名前

サイン



水揚げされたクロマグロ(青森県大間町で)

クロマグロ「準絶滅危惧」に

◆すしネタとして有名な太平洋クロマグロ。絶滅の恐れがある動植物のリストに入っていますが、分類に変化があったようです。

(2021年9月7日 読売新聞朝刊より)



各国の政府や環境団体などでつくる「国際自然保護連合(IUCN)」は、絶滅の恐れがある動植物をまとめたレッドリストの最新版を公表

し、絶滅危惧種に分類していた太平洋クロマグロを準絶滅危惧種に引き下げた。資源回復が進んだためとしている。

すしネタとして知られる太平洋クロマグロは日本近海で数多くの漁獲があり、一部はメキシコでも取られている。親魚の資源量は1960年代に世界で約16万トだったが、2010年には約1万トまで激減。国際的に保護の必要性が高まり、IUCNは14年、3段階ある絶滅危惧種のレベルのうちリスクが一番低い「2類」(現在の「危急」とした)。

こうした減少傾向を受け、資源管理を議論する国際会議「中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)」は漁獲量を減らすなどの対策を進めてきた。IUCNは、今回の改訂で「持続可能な漁業の取り組みが進んだ」などとして、1段階低い準絶滅危惧種に引き下げた。ただ、「深刻な資源枯渇の状況は続いている」とも指摘し、保護を継続するよう求めている。

【1】クロマグロは今まで何に分類されていましたか。また、新しく何に分類されましたか。

【2】分類に変化があったのはなぜですか。書きましょう。

【発展問題】人の活動や環境の変化で、海の生き物にどのような影響が出ているか調べましょう。また、海の環境を守るために何ができるのか、話し合みましょう。



年 組 () 名前

サイン

Japanese tea producers feel pinch amid pandemic



The Yomiuri Shimbun

Isamu Harada, head of the Tanba Sasayama tea production cooperative, stands in the tea fields of Tanba-Sasayama, Hyogo Prefecture.

◆ 日本茶の産地がコロナ禍で苦境に立たされ、産地を抱える自治体は支援に乗り出しています。

(2021年9月28日
The Japan Newsより)

Tea producing regions across Japan have been struggling to stay afloat amid the novel coronavirus pandemic, as restrictions on social gatherings drain demand for the beverage of choice for everything from office board meetings to funeral return gifts. Facing flagging sales, municipalities have begun brewing up initiatives to buoy their local tea industries, in the hopes of finding a glass half-full solution to a challenging situation.

【1】世界的流行を英語で書きましょう。

【2】下線部のfuneral return giftsを日本語にしましょう。

【3】なぜ、日本茶の売り上げが減ったのでしょうか。日本語で書きましょう。

amid ~: ~の真ん中で、producing regions: 生産地、across ~: ~の全域で、struggle to ~: 必死に~しようとする、stay afloat: (商売などを) 何とか回す、the novel coronavirus: 新型コロナウイルス、restrictions: 制約、social gatherings: 懇親会、集会、drain: 枯渇させる、beverage: 飲み物、office board meeting: 会社の役員会議、flagging sales: 売り上げの落ち込み、municipalities: 地方自治体、brew up initiatives: 新規事業に取り組む、buoy: 元気づける、local tea industries: 地域のお茶産業、glass half-full: グラス半分、solution: 解決、challenging situation: 困難な状況

読売新聞特別版「正倉院宝物を学ぼう！」を進呈します

「第73回正倉院展」(10月30日～11月15日、主催：奈良国立博物館、特別協力：読売新聞社)の展示宝物などを紹介する特別版「正倉院宝物を学ぼう！」(タブロイド判・オールカラー4ページ)を、学習教材としてご活用いただける学校に無料で差し上げます。

(写真は今年の紙面)

「宝物を1200年も守ってきた正倉院ってどんな建物?」、「どんな宝物が保管されているの?」など、皆さんが知りたいことを多彩な写真やイラストでわかりやすく説明します。

正倉院宝物を代表する楽器の一つ「螺鈿紫檀阮咸(らでんしたんのげんかん)」や、光明皇后が自ら筆をとって写し、東大寺に献納した書物「杜家立成(とかりっせい)」など、今年の展示宝物を、読売新聞日曜版の人気連載漫画「猫ピッチャー」の主人公、ミー太郎と一緒に学べる内容です。



特別版の申し込みは **11月1日(月)までに**、以下の申込用紙に必要事項を記入し、ファクスで送信してください。(お届けできるのは10月14日以降の予定です)

<お問い合わせ>

読売新聞大阪本社 広報宣伝部(担当:佐藤) 電話 06-6366-1530

(ファクスの場合は、切り取らず、この用紙のままお送りください)

FAX 06-6366-1928

11月1日必着

読売新聞大阪本社 広報宣伝部 宛

特別版「正倉院宝物を学ぼう！」を申し込みます。

学校名	
学校住所	〒
電話番号	() -
担当教諭名	
希望部数	部